

[2015年8月7日]

## 【おススメ】猛暑は熱中症だけでなく、呼吸器、精神科など他疾患のリスクにも

連日猛暑が続き、7月27日からの1週間では過去最多の熱中症の搬送者数を記録したそうです（[関連記事](#)）。熱中症患者の対応に追われている先生もいらっしゃるでしょう。世界で初となる熱中症ガイドラインがわが国で公表されたニュースなど猛暑関連の記事を集めてみました。

米国での予測ではありますが、猛暑日は来年以降も増加していくとのことです（[関連記事](#)）。猛暑日の増加は、熱中症の危険性や作業効率を下げるだけでなく、呼吸器疾患、精神科疾患、感染症などの増加をもたらす危険性があるそうです。

熱中症による死亡者も増えていますが、気温に関係した死亡では高温よりもほとんどが寒さによるものという解析結果があり、猛暑のなか生活していると意外な印象を受けます（[関連記事](#)）。

これだけ暑いと辛い物でも食べたいと思うでしょう。辛い物を頻繁に食べると死亡リスクを下げるという報告があります（[関連記事](#)）ので、スパイシー料理でこの夏を乗り切ってください。

- ▶ 熱中症で救急搬送、週間最多の1万1672人
- ▶ 日本救急医学会が「熱中症診療ガイドライン2015」を公表
- ▶ [第69回日本体力医学会大会] 学会の研究成果を活用し、増加する熱中症の根絶を目指す
- ▶ [第42回日本救急医学会総会・学術集会] 熱中重症度スコアによる判定 高齢患者でも妥当
- ▶ 気候変動による健康への影響は深刻／気候変動サミットに合わせエビデンスをレビュー
- ▶ 気温に関連した死亡のほとんどは暑さよりも寒さが原因／日本を含む世界13カ国約7,400万人の死亡データを解析
- ▶ [時間の風景] (801) 熱中症
- ▶ スパイシーな料理で死亡リスクが低下

(編集室)

この記事に対するご意見・お問い合わせは、[mt@medical-tribune.co.jp](mailto:mt@medical-tribune.co.jp) までお願いします。

[TOPページに戻る](#)